

と米営農組合、山武市
さんぶ野菜ネットワーク
を訪問しました。

市民エネルギー千葉では代表の椿茂雄さんがソーラーシェアリングによる耕作放棄地の解消や売電事業の収入による地域振興、新規就農支援などを解説。あいにくの雨模様でしたがパネルの下のほ場も見学しました。

参加者からは発電した電気の使い道や、耕作する農家の収入など、太陽光発電でどのように営農を支えているのか質問が相次ぎました。

米営農組合ではライスセンター内で代表理事の伊藤秀雄さんが組合の成り立ちや事業の概要を説明。海外代表は大きな田植え機の前で、組合の運営方法や実際の作業の詳細などについて熱心に質問していました。

さんぶ野菜ネットワークでは有機野菜生産による新規就農者の育成と地域の維持などを下山久信事務局長から聞きました。新規就農者の土地の所有形態などが質問として出されました。

参加者はそれぞれの地域と農業を守る取り組みに対して、その仕組みや運営方法などを熱心に学んでいました。

農村訪問 千葉県3カ所を 訪問、農民自身 の組織運営に 関心

地域会議に先立つ21日に千葉県匝瑳（そうさ）市の市民エネルギーしば



雨の中、ソーラーシェアリングのほ場を見学